

医療安全管理の基本理念

社会福祉法人愛徳福祉会 大阪発達総合療育センター<保険医療機関名：南大阪小児リハビリテーション病院>は、肢体不自由児施設、重症心身障害児者施設及び通園施設として、利用者本位の安全で質の高い医療、福祉サービスを提供する事を目指している。本来施設は安全なものではないが、実際の医療・介護場面では多くのリスクをはらみ、職員の不注意等が予測しない状況や望ましくない事態を引き起こし、利用者の健康や生命を損なう結果を招く事がある。従って、医療・福祉サービス提供者には、利用者の安全を確保するための普段の努力と緊張感ならびに高いレベルの危機管理意識が全員に求められている。さらに、発生した事柄を一個人の問題に帰することなく、施設全体の問題として、単独あるいは重複した過ちが、事故という形で利用者の実害を及ぼすことのないようなシステムを構築することも重要である。それぞれの職員の個人レベルでの事故防止策と、施設全体の組織的な事故防止策を並行して推し進める事によって事故の発生を未然に防ぎ、利用者が安心して安全な医療・福祉サービスを受けられる環境を整えるよう努めなければならない。